

復興は健康から

いわて東北M・Mの取り組み

ここからは二戸、久慈、宮古地域で平成14～16年の間に市町村が行った健康診査を受診された2万6469人の方々を対象とした研究を説明したい。

コホートとは学術用語で、特定の人の集団のこと。基本的には何万人、何千人の集団を指す。

健康調査をさせていた

だいた時に、当時の検診内容に加え、LDLコレステロール、心不全や炎症などのバイオマーカーを合わせて調査し、健康状態を長期にわたって追跡した。およそ85%の同意率で追跡調査にも協力いただいている。参加の方が多い。

コホート事業とは？

に同意した人は、住民異動情報をもとに生存、死亡、転出を確認した。

岩手県ではがん、脳卒中、心疾患は発症登録を行っている。そういうた

め、データともリンクして、どういった方が発症したかを調べる。行政情報やレセプト情報も用いて、同意した方々の要介護認定や医療費についても調べた。

（つづく）

る。

コホート研究では、毎年どんな病気になったのか、あるいは元気なのかを調べている。女性では

BMIと脳卒中発症とは関係ないが、男性は27・5を超えると、脳卒中の

BMIは体重を身長で2回割ったもので、25を超えると肥満とされる。

男性は対象市町村のほとんどの地区で全国よりも肥満の割合が高かった。

もう一つ、この研究で分かったことがある。男

性のやせている人は脳出

血、太っている人は脳卒中を上回る。

国平均を上回る。

うそくななりやすい。と

何が問題なのか。BM

I 25くらいが、統計学的にいちばん長生きする。

いる男性が脳出血になりやすいことが分かつてき

た。

女性は肥満が病気と全く関係がないのかと言えば、「太りすぎ」が全国より2倍くらい多い。これが

ける確率が高くなる。

どうして介護認定を受ける確率が高くなるのか。それは腰が痛いとか、膝が痛いとかの整形

外科疾患が関係していると考えられる。介護度は高くないが、肥満の方では自立して歩くことに不

自由を感じている方が多いかもしれません。

これが重要な点が、介護認定を長期間続けることで、皆さんの健康課題を明らかにします。

人を3個以上にしないことが重要。コホート研究を長期間続けることで、皆さんの健康課題を明らかにします。

肥満、高血圧、耐糖能異常、脂質異常、喫煙の

危険因子がある、なしで

はどんな差が生まれる

か。医療費を調べると、

危険因子を持っている人

が少ないほど、医療費は少ない。3個以上の人

月々、2万8000円ぐら

い、ゼロの人は1万8000円。皆さんのが財布はもちろん、町や

国にも響く。

理論上、全員が危険因

子ゼロになつたら、医療費を20%削減することが

できる。だが3個以上の

人をむりやりゼロにする

のではなくて、今ゼロの

人を3個以上にしないこ

とが重要。コホート研究を長期間続けることで、皆さんの健康課題を明らかにします。

丹野准教授の講演に耳を傾ける住田町健康づくり推進員＝矢巾町

これを見せるのは、皆

さんのおかげ、皆さんの協力により、医学の進歩

に非常に役立つデータが

出てきた。

このことをお返

かにし、皆さんに具体的に注意すべきことをお返

しきれています。

これを見せるのは、皆

さんのおかげ、皆さんの協力により、医学の進歩

に非常に役立つデータが

出てきた。

このことをお返

かにし、皆さんに具体的に注意すべきことをお返

しきれています。

これを見せるのは、皆

さんのおかげ、皆さんの協力により、医学の進歩

に非常に役立つデータが

出てきた。

このことをお返



気仙のデータを予防に 岩手医大・丹野准教授の講演より②